

経済学演習Ⅰ

必修 2単位

江夏 由樹

1. 授業の概要(ねらい)

アジア経済史、並びに、開発経済学について基本的な事柄を学習します。用いるテキストは受講者の研究テーマを参考にしながら決めます。

2. 授業の到達目標

受講者の興味関心により、修士論文の作成に向けての研究課題の絞り込みを行うことを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

毎時間の演習への参加度(報告・ディスカッション等)(50パーセント)と期末レポート(50パーセント)により、成績評価を行います。詳細は受講状況を見てから決めます。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

毎回、指定された参考文献を読むこと、また、その内容についてレポートを作成していただくことが求められます。

6. その他履修上の注意事項

当然ながら、授業には毎回出席することが要求されます。

7. 授業内容

- 【第1回】 教員、演習参加者の自己紹介。本演習で学ぶ具体的なテーマについての自由討論。
- 【第2回】 本演習の具体的な進め方についての相談。
- 【第3回】 経済史、また、開発経済学研究にとっての基本問題
- 【第4回】 人口問題の歴史と現在
- 【第5回】 少子高齢化の問題—各国の現状
- 【第6回】 少子高齢化はなぜ深刻な問題か？
- 【第7回】 農業の歴史—経済史・開発経済学の視点から
- 【第8回】 レポート作成に向けての講義参加者からの中間報告
- 【第9回】 環境問題の歴史—経済史・開発経済学の視点から
- 【第10回】 工業化の歴史とそこにある問題—経済史・開発経済学の視点から
- 【第11回】 アジア各国における農業と工業の歴史
- 【第12回】 アジア各国における貿易と投資
- 【第13回】 演習参加による期末レポートについての報告①
- 【第14回】 演習参加者による期末レポートについての報告②
- 【第15回】 総括